

第 22 回 どうだんつつじコンサート

インド音楽と和楽器 インド声楽と和歌

日印音楽 & 世界音楽メドレー

T M Hoffman ティム・ホフマン 天竺尺八、箏、うた

米国出身、アジア滞在 40 年。ピアノを 4 歳より、尺八を故人間国宝山口五郎、インド古典声楽を G・P・ミシュラの許で実践を積む。日本、インド・南アジア全国、米国、ヨーロッパなどの公演、放送、寺院（国内に建長寺や護国寺、石山寺、高野山、浄源寺）などにて演奏や講演多数。1987 年インド国 U P 州知事賞（北インド 古典音楽部門）、2003 年日本外国特派員協会 FCCJ デロイ賞、2006 年全米インド学会 AIIS に演奏芸術開発賞、2015 年インド芸術活動協会 NIFAA にアジア文化大使賞、インド読者と作家連盟 RWSI に受賞。カリフォルニア州立大学、国際基督教大学、バートカンデ音楽大学（インド）、ハワイ大学大学院 / 米国国立東西研究所修士。慶應義塾大、武蔵野音楽大学・他に講師。CD の監修、『尺八と箏のためのインド音楽』などの音楽資料著作や編集・訳書多数、日印音楽交流会代表として国内外の音楽企画を実施。www.ijmea.com



Ashwini Kumar Mishra アシュウニ・ミシュラ タブラー、うた

インド U.P 州出身。幼い頃から音楽に興味があって、15 歳からタブラーを始め、Pandit Jamuna Mishra から 3 年間最初の手ほどきを受ける。1995 年に全インド音楽協議会主催のコンクール第一位、1996 年に全インド音楽コンクール第一位。2002 年にバラナシヒन्दゥー大学音楽部タブラー学科修士課程修了、2004 年にマハトマガンディー大学タブラー講師。その後、バラナシのタブラー巨匠 Pandit Lacchu Maharaj に師事し今日に至る。2003 年より日本公演、ヨーロッパ公演。現在は、兵庫県稲美町にてタブラー教室および国内外の演奏活動を続けている。



INTEGRAL ASIA * CLASSICAL & FOLK MUSIC OF INDIA & JAPAN & BEYOND

2018 年 11 月 21 日 (水) 13:30 開演

岐阜市 崇福寺 本堂にて 1500 円 (前売り)

私たちの住んでいる大宇宙は、138億年前に誕生致しましたが、膨張し続けており、最後はどうなるのかと科学の世界では注目されています。そのような最中、1400億年は大丈夫であろうという説が発表されました。然しながら、私たちの住む地球の温暖化は進むばかりで、このままのスピードで悪化していけば、地球には住めないことになり、花々を愛で、楽しい音楽を聞くことも出来なくなるのです。一日でも早く、自然エネルギーの100%化を実現させ、子供や孫たちの時代も、安心して住める地球であって欲しいと願わずにはおられません。 (崇福寺住職)

主催 崇福寺ビハーラ長良

共催 崇福寺花園会

チケットのお求め、問い合わせ

崇福寺 058-231-2613

岐阜市長良福光 2403-1